

「ふれあいの里山」復活大作



日時	2022年 7月 2日(土) 9時00分～ 11時30分		
場所	金ヶ崎公園	天候	晴れ
参加者	エコウイング会員 3名、事務局 1名、計 4名		

● 活動内容

金ヶ崎公園の活動は、6月はエコウイングあかしの総会開催日に当たって休止になったため、今日は2か月ぶりの開催になりました。

今年は、近畿地方が6月28日に過去最も早く梅雨が明け、その後は記録的は暑さの日が続いていたためか、今日は参加者が4名だけと少ない中での活動になりました。

朝9時に、公園会議室にコロナの感染対策をして集合し、先ずミーティングで新しいエコウイングあかしの組織体制と活動の方向性について、またそれに伴う金ヶ崎公園の里山活動のあり方について、現在の検討状況を説明しました。また、事務局から6月27日に兵庫県で初めて石ヶ谷公園で発見された外来種昆虫「クビアカツヤカミキリ」について説明がありました。サクラやウメ、モモなどバラ科の樹木の害虫で、見つけたらすぐに県や市の関係窓口に連絡が必要です。

ミーティングのあと、公園内を一巡して昆虫を中心とした自然観察をしました。チョウやコウチュウなどのなかまが色々と姿を見せましたが、この時期には思ったより観察できた昆虫は多くありませんでした。

かなり気温も湿度も高い中での観察で熱中症のリスクもあるため、予定より少し早めに会議室に戻り、11時30分に活動を終了し、帰路に就きました。

- 次回の活動は、日程上は8月6日(土)の予定となりますが、次回の運営委員会で新しい体制のもとどのように活動を進めるかを検討したうえで日程や活動内容を決定します。

自然観察の様子－1



自然観察の様子－2



今日の金ヶ崎公園の自然観察日記(その1)

今日の金ヶ崎公園の昆虫は、早くもあちこちからセミの声が聞こえ、梅雨明けを実感しました。その中で、特にチョウのなかまが色々姿を見せてくれたほか、コウチュウやハチのなかまなどが観察できました。公園入口のグラウンドの横では、コナラの木にキイロスズメバチが巣を作っていました。

アサマイチモンジ



ホシミスジ



ヤマトシジミ



ヒカゲチョウ



クロコノマチョウ



モンシロチョウ



ツマグロヒョウモン(メス)



カノコガ



キムネクマバチ



シオヤアブ



キマワリ



キイロスズメバチの巣



今日の金ヶ崎公園の自然観察日記(その2)

野鳥では、夏鳥のキビタキが盛んに鳴いていましたが姿は確認できませんでした。観察できたのは、常連のハクセキレイやコゲラ、ムクドリなどでした。その他の生き物では、体長が10cmを超えているような大きなトノサマガエルが現れました。

植物では、アジサイの花が咲いていましたが、梅雨明けの暑さで少しぐったりしているように見えました。ホタルブクロの薄紫色の花も咲いていたほか、エゴノキやヤマモモ、アケビ、ナツハゼなどが実を付けていました。

ハクセキレイ



コゲラ



ムクドリ



大きなトノサマガエル



アジサイの花



ホタルブクロの花



エゴノキの実



ヤマモモの実



アケビの実



ナツハゼの実

